

間伐実践・環境教育部門 特別賞

Forest Good 2016 ～間伐・間伐材利用コンクール～

(会社名・団体名等)

特定非営利活動法人 四季の会

連絡先	(住所) 〒 899-5411 鹿児島県始良市鍋倉 669 番地 (電話番号等) TEL : 0995-73-3446 FAX : 0995-73-3447
-----	---

取組の名称	自立型NPO運営のための利用間伐（用材搬出・木質バイオマス）																										
取組名称の説明	当県でも林業関係に携わるNPOで、間伐を実施している団体は幾つかあるが、作業は小規模かつ切捨間伐であり、材の搬出まで取り組んでいる団体は見受けられなかった。そこで、平成23年に本格的に林業界に参入することを決意し、独自の森林整備班を結成し、利用間伐の実施ならびに伐採した材の搬出に取り組んだ。																										
取組のきっかけ	平成21年度～23年度までの3年間、始良市の「ふるさと緊急雇用促進事業」の受託で職員を3名雇用し、島津の建昌城（山城）跡の森林（5.5ha）を整備し、3年間のなかで数々の森林環境教育活動にも携わってきた。就労の場を確立するため、緑の雇用制度等を活用しながら、自立するNPOを目指すこととした。																										
取組内容・特徴	当会は、「環境づくり・森づくり・人づくり」の理念のもと、緑の雇用制度を活用しながら自立するNPOを目指し、独自の森林整備班を育成してきた。23年10月には、NPOでは、国内初となる県の認定林業事業者の認定を受け、いよいよ本格的に林業界に参入した。当初は、森林組合等の下請作業が主であったが、年々直営で鹿児島県や森林整備公社の仕事も直請するまでとなった。今では、森林整備班も10名となり、高性能機械（グラブプル・フォワーダ・プロセッサ）を駆使した大々的な材の搬出を行い、本格的な利用間伐の推進に努めている。また、木質バイオマスエネルギー供給を目的に平成25年に設立された「霧島木質発電株式会社」「霧島木質燃料株式会社」の構成する協議会の会員になり、平成26年6月には木質バイオマスの証明に係る事業者認定も受けた。近年の地球温暖化の問題など環境問題への対応からも、安全かつ環境にやさしい自然エネルギーの供給に少しでも貢献できればと、日々バイオマス材も提供している。																										
実行体制・安全対策等（他団体との連携状況を含む）	現在10名の森林整備班員と2名の育成指導者（森林組合OB）で、事業に関わっている。林内作業車はもとより、高性能林業機械（グラブプル・フォワーダ）を自社で有しているため、効率の良い作業を実施できている。緑の雇用制度などで育成してきた班員も、今では数多くの資格を取得しているため、小規模な作業から、高性能林業機械を使った大規模作業まで、広範囲にわたり充実した整備ができる。安全対策としては、毎月指導者が安全パトロールを行うとともに、月初めには、班員全体を集めた安全対策会議もやっている。また、林業木材製造業労働災害防止協会鹿児島県支部にも属し、年数回の講師の現場指導や安全対策講義を受けている。労働保険のほか、民間の保険にも加入し、二重に対策をとっている。																										
実績	除間伐実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(年度)</th> <th>(面積・ha)</th> <th>(搬出材積・m³)</th> <th>(金額・千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>20.00</td> <td>672</td> <td>4,540</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>51.34</td> <td>3,122</td> <td>25,360</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>74.57</td> <td>2,975</td> <td>34,223</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>77.16</td> <td>5,424</td> <td>45,759</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>88.55</td> <td>5,482</td> <td>62,446</td> </tr> </tbody> </table>		(年度)	(面積・ha)	(搬出材積・m ³)	(金額・千円)	平成23年度	20.00	672	4,540	平成24年度	51.34	3,122	25,360	平成25年度	74.57	2,975	34,223	平成26年度	77.16	5,424	45,759	平成27年度	88.55	5,482	62,446
	(年度)	(面積・ha)	(搬出材積・m ³)	(金額・千円)																							
平成23年度	20.00	672	4,540																								
平成24年度	51.34	3,122	25,360																								
平成25年度	74.57	2,975	34,223																								
平成26年度	77.16	5,424	45,759																								
平成27年度	88.55	5,482	62,446																								
環境教育	林業労働体験事業（下刈り・つる切り・除間伐体験）、間伐材および竹材を使った木・竹エクストラ教室、森林ピック（モリリンピック）と称する間伐材を使った競技（丸太切り&重量当て、間伐材の積み木、間伐材のボーリングなど）、森林・林業体験バスツアーの実施。																										
取組による効果等	森林整備を行う森林は、県有林・市町村有林・公社有林が主であることから、事業収入を得る一方で、地域の森林づくりにも少なからず貢献できていると考える。林業界に本格的に参入し、利用間伐を推進していくと、木材の循環がより良く分かり、木材を最大限に有効利用することの大切さも改めて実感する。木質バイオマスエネルギーが今後積極的に利用され普及していけば、おのずと山村地域も活性化していくのではないかと考える。また、森林環境教育の面からも、これらのことを伝えていくことはとても大切なことである。これらも様々な手法を凝らし、わかりやすく多くの世代に伝えていきたい。 この取組にあたって、緑の雇用制度を活用した森林整備班を結成したことで、将来を担う林業作業士を育成することができ、指導員には森林組合等のOBを採用したことで、わずかながら県内の人材雇用にも貢献できたのではないかと考えている。																										